

【注意書きを必ずお読みのうえ、の中をご記入ください】

株式会社 川商ハウス 殿

内容訂正等請求書

年 月 日

氏名
住所
TEL
連絡先 (連絡先が上記の本人以外の場合は、連絡担当者の住所・氏名・電話番号)

貴社の保有する個人データの公開に関する規定に基づき、個人データの内容が間違っているの
下記のとおり情報の〔1. 内容の訂正、追加 2. 削除〕を請求します。

(1または2をお選びください)

記

1. 訂正、追加または削除する保有個人データの名称等

(請求する保有個人データが特定できるよう、できるだけ具体的に記載してください)

2. 訂正、追加または削除する保有個人データの名称等

※以下の欄は記入しないでください。

処理欄				
通知方法〔郵便、電話、その他（ <input type="text"/> ）〕				
請求日	処理日	担当者	本人確認書類	備考
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

当社の「保有個人データ」の内容訂正等の請求にあたって

1. 請求の対象となる「保有個人データ」

この請求の対象となる「保有個人データ」とは、「個人情報の保護に関する法律」第2条第5項に規定されるものをいい、当社が、開示等の権限を有する個人データです。

なお、同法律により、次に該当するものは請求の対象から除きますのでご了承ください。

(1) その存否が明らかになることにより公益その他の利益が害されるもの。

- ① 個人情報の本人又は第三者の生命、身体又は財産に危害を及ぼすおそれのあるもの
- ② 違法又は不当な行為を助長し、又は誘発するおそれがあるもの
- ③ 国の安全が害されるおそれ、他国若しくは国際機関との信頼関係が損なわれるおそれ又は他国若しくは国際機関との交渉上不利益を被るおそれがあるもの
- ④ 犯罪の予防、鎮圧又は捜査その他の公共安全と秩序の維持に支障を及ぼすおそれがあるもの

(2) 6ヶ月以内に消去することとなるもの

2. 請求者および代理人の確認にあたって

この請求に際しては、請求する個人情報の本人であるかどうかの確認が重要となりますので、本人の氏名と住所・生年月日が記載された本人確認書類（別紙参照）の中から1種類を選び、本籍地を伏字したコピーを同封してください。

3. 次に該当する場合は、この請求をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。

- (1) 当社が報道および著述を目的として請求者の個人情報を利用したとき
- (2) 他の法令の規定による場合
- (3) 利用目的からみて訂正が必要ない場合
- (4) 誤りである旨の指摘が正しくない場合
- (5) 事実ではなく、評価に対する指摘の場合
- (6) 本人確認ができない場合
- (7) 当社の定めた請求手続きに従わない場合

本人確認書類一覧

- ①旅券(パスポート)
- ②在留カード
- ③特別永住者証明書
- ④外国人登録証明書(在留の資格が特別永住者又は永住者のものに限りません。)
- ⑤免許等
 - ・運転免許証・船員手帳・海技免状・小型船舶操縦免許証・猟銃・空気銃所持許可証・戦傷病者手帳・宅地建物取引主任者証・電気工事士免状・認定電気工事従事者認定証・特殊電気工事資格者認定証・耐空検査員の証・航空従事者技能証明書・運航管理者技能検定合格証明書・動力車操縦者運転免許証・教習資格認定証・警備業法第 23 条第 4 項に規定する合格証明書・警備員等の検定等に関する規則附則第 3 条の規定による廃止前の警備員等の検定に関する規則第 8 条に規定する合格証
- ⑥写真付き住民基本台帳カード
- ⑦市町村と特別区で作成される住民票、戸籍謄本
- ⑧官公庁や特殊法人等が発行した身分証明書で写真付のもの
- ⑨健康保険、国民健康保険または船員保険等の被保険者証
- ⑩共済組合員証
- ⑪国民年金手帳
- ⑫年金手帳
- ⑬国民年金、厚生年金保険または船員保険に係る年金証書
- ⑭共済年金または恩給等の証書
- ⑮学生証、会社の身分証明書または公の機関が発行した資格証明書で写真付のもの(療育手帳、身体障がい者手帳等)

※現在入居中のご契約者の方の場合は、①～⑮の写しのいずれか一つを、既に退去なさっている

方の場合は、①～⑦の写しのいずれか一つを、ご本人確認のための書類としてご提出頂く必要が
ございます。